

今日は、校長先生が4年生の校外学習の引率でいらっしゃらないので、代わりに副校長先生がお話をします。

先週土曜日は、今年度初めての土曜日の学校公開でした。多くのお家の人に、みなさんのがんばっている姿を見ていただきました。皆さん、おうちに帰って、どんなお話をしましたか。

さて、その学校公開の3時間目に、来ている保護者の方たちと授業をしていない先生たちで、佐藤香代さんという方のお話を聞きました。佐藤先生は学校で起きたいじめの問題を解決するためにお仕事をしている弁護士の先生で、昨年に引き続き、来ていただきました。今日は、佐藤先生から聞いたお話をもとに、皆さんと一緒に考えたいこととお話しします。

まず、「人が人として生きていくために守られなくてはならないこと」が3つあります。その一つは「安心」です。いじめられるかもしれない、悪口を言われるかもしれない、という不安が続くと、人は生きられません。

次は「自信」です。自分はみんなに受け入れられている。仲間だと思われている。大切にされている。そう感じられて初めて自信をもって生きることができます。私が、私のまま、自信をもって生きていいのです。

そして「自由」です。自分の意志で生き方を決められる自由です。本当はこうしたいけど何かされるかも知れないから止めておこう。こう言ったら仲間は外れになるかも知れないから言うのを止めよう。これでは自分らしく生きることができません。

さて、「いじめや嫌がらせ」がなぜいけないことなのか。それは、いまお話した、人が人として生きていくために守られなくてはならない、「安心」「自信」「自由」が奪われ、人が人らしく生きていけなくなるからなのです。

今、浅草小学校のみなさんに、「いじめや嫌がらせはいけないことだと思いますか」と聞けば、みんなが「いけないことだ」と答えてくれると思います。みんな「いけないことだ」ということは分かっているのです。でも、いじめや嫌がらせはなくなりません。なぜなのでしょう。

いじめや嫌がらせが起きるとき、そこには「いじめている人」「いじめられている人」そして「見ている人」がいます。今日は、「見ている人」に着目して、考えていきましょう。

いじめについて研究している人の調査で、いじめを見ている人の83%は、いじめは嫌で、見ているのは気分が悪いと感じているそうです。でも、見ている人の54%は、それを、ただ見ているだけにしています。

人が人として
生きていくために
守られなくては
ならないもの

あん しん
安心
不安の中では
生きられない

じ しん
自信
受け入れられて
いると感じる

じ ゆう
自由
自分らしく
生きられる

いじめを見ている人の中で

・見ているのは気分が悪いと思う人 **83%**

・見ているだけの人 **54%**

いじめられている人を助けようとしたのは、25%に過ぎないということでした。

いじめは嫌で、見ているのは気分が悪いと感じているのに、見て見ぬふりをしてしまう人の心は、次の3つのようなものなのだそうです。

- 1 他の人が行動していないのだから、大したことではないのだろう。
- 2 他の人が行動しないのだから、自分も行動しなくてもよいだろう。
- 3 他の人が行動しないのだから、「こんなことぐらいで行動するのはやり過ぎ」と思われてしまいそう。

このような心で、見て見ぬふりをして人の中には、今度は「いじめる人」になってしまうということもあるそうです。そうでなくても、いじめや嫌がらせがずっと続く教室や学校は、楽しいものではなくなってしまいます。教室や学校が楽しいものにするために、先生たちも頑張っています。みなさん一人一人も、がんばらなくてはなりません。

では、どうすればいいのか。みなさんにもできそうなことを、弁護士の佐藤先生に教えていただきました。

- 1 いじめを面白がらない 「何がおもしろいの」という態度をする。
- 2 いじめられている、嫌がらせをされている人と一緒に、先生の相談に行く。
- 3 いじめられている、嫌がらせをされている人に、声をかける。
- 4 いじめられている、嫌がらせをされている人に、自分は味方であることを伝える。
- 5 いじめられている、嫌がらせをされている人を、自分のグループに入れてあげる。
- 6 仲間をふやし、一緒にいじめを止めに入る。

この中で、無理なくできるのは、どんなことなのでしょう。ただ見ているだけでなく、一人一人が、できることを行動していく。そうすることで、教室や学校は楽しいものになりますし、「安心」「安全」「自由」という「人が人として生きていくために守られなくてはならないこと」が、守られるようになっていきます。

みなさんの、一人一人の力を合わせて、みんなが気持ちよく、楽しく生活できるようにいきましょう。

なぜ見て見ぬふりをしてしまうのか

- 1 他の人が行動していないのだから、大したことではないのだろう。
- 2 他の人が行動しないのだから、自分も行動しなくてもよいだろう。
- 3 他の人が行動しないのだから、「こんなことぐらいで行動するのはやり過ぎ」と思われてしまいそう。

いじめを見ている人ができること

- 1 いじめを面白がらない。「何がおもしろいの」という態度。
- 2 いじめられている、嫌がらせをされている人と一緒に、先生の相談に行く。
- 3 いじめられている、嫌がらせをされている人に、声をかける。
- 4 いじめられている、嫌がらせをされている人に、自分は味方であることを伝える。
- 5 いじめられている、嫌がらせをされている人を、自分のグループに入れてあげる。
- 6 仲間をふやし、一緒にいじめを止めに入る。